

次供花十二盞

此間奏樂向東

次官幣

此儀内庭察官人代御幣物ヲ取り東方ヨリ進ミ
出舞臺ノ南ニ立ツ宮司之ヲ取り内殿ニ納ム

次上卿起座禮堂ヲ出舞臺中央ノ座ニ著ク

次宮司起座上卿ノ座前ニ來ル

次上卿御祭文ヲ宮司ニ授ク宮司之ヲ取り神前ニ
納ム

次上卿起座禮堂ノ座ニ復ス

次宮司更ニ進ミ出テ舞臺ノ座ニ著キ祝詞ヲ申ス
畢テ拍手ニ度上卿以下應之

次宮司昇神殿

次神馬ヲ牽廻ス三匹馬九二人前行

此間奏樂向東

次宮司神寶ノ御樂器三管ヲ御幸櫛ヨリ出シ樂器
ノ蓋ニ載セ神官ニ授ク

次神官大床ニ進ミ宮司ヨリ三管ヲ受取階下ニ於
テ之ヲ樂人ニ授ク

大神官昇殿御樂器ノ蓋ヲ宮司ニ返上ス

次樂人樂舍ニ於テ奏樂

驅踏 賀殿皇 羅陵王 退出長慶子

次樂人御樂器返上次宮司

次宮司以下拜禮

次神饌ヲ撤ス

此間奏樂向東

次各退出

還幸次第

午後第五時供奉ノ張帳宮ニ參集

次宮司以下著履會

次奉行及掛官員履會ニ著

次神饌ヲ供ス

此間奏樂向東

次宮司階下ニ進ミ祝詞ヲ奏ス

次勅奏任官拜禮玉串ヲ捧ク

次列任官拜禮

次宮司玉串ヲ献リ拜禮

次禰宜以下拜禮

次神饌ヲ撤ス

此間奏樂向東

次禰宜神寶ヲ出シテ神官ニ授ク

次行列ノ次第ヲ整フ

是ヨリ先上卿以下禮堂ノ座ニ著ク

次外記覽見參

上卿披見畢テ返賜外記退下

次各起座下座

次上卿以下舞臺四北北列立今初

次風登三基ヲ舞臺ニ安ス

次還幸皇

次上卿以下離列前行南門ヲ出胡殿殿ニ奉送北

上卿

風登三基過御ノ間上卿以下敬禮

次風登ヲ本宮舞臺ニ安ス

次禰宜神寶ヲ神官ヨリ受取内殿ニ納ム

是ヨリ先奉行及掛官員間道ヲ經參進内廊ニ著
床

次宮司昇殿

次禰宜以下風登ヲ大床ニ寄奉ル

次警蹕

次御鐘座

次一同殿内廊ニ著床

次宮司下殿舞臺ニ於テ閉扉ノ祝詞ヲ奏ス

次宮司閉扉ノ旨ヲ奉行ニ申ス

次各退出

靖國神社例祭 (五月六日、十一月六日)

維新中興の際勤王の大義に殉じたるもの内戦外役に一身を費としたるもの、忠魂義魄を追祀せられ、毎年五月六日十一月六日には例祭を行ひ特に十一月六日には午前九時勅使として掌典を遣はし幣帛を奉らしめ給ふ。皇威八紘に輝くと共に邦家の軍事多端にして屢々忠戦者の靈を合祀せられ其折には 陛下親しく参拜おらせらるゝこともあり。萬乗の尊を以て微々たる士卒の靈を拜禮おらせらるゝこと此の如きを見ては誰か奉公に一身を惜むものあらんや。

明治三十七年一月二日印刷
明治三十七年一月五日發行

宮中儀式略典附

定價金壹圓



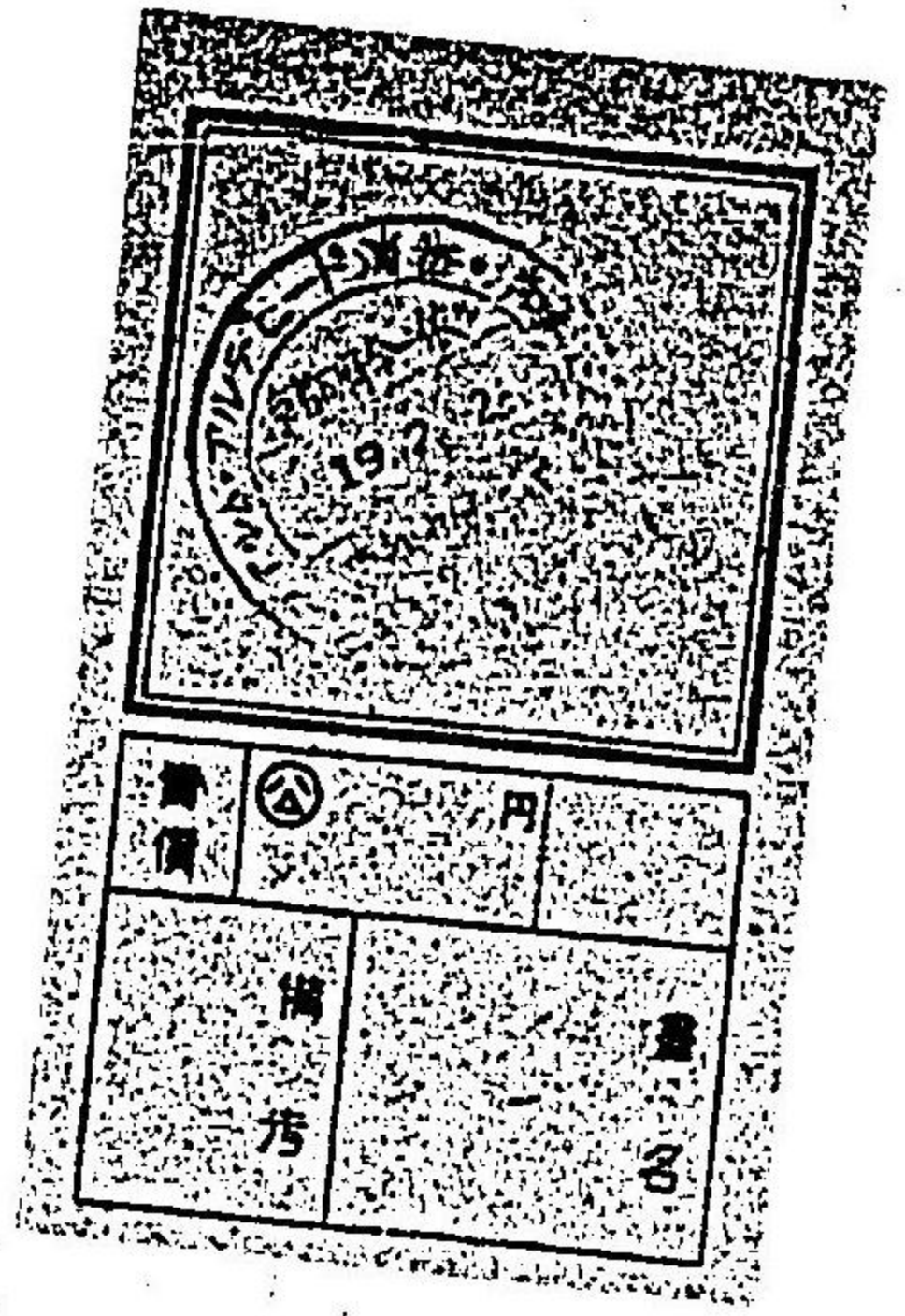
著者 平田久
東京市麴町區紀尾井町三番地

發行者 渡邊爲藏
東京市京橋區日吉町四番地

印刷者 齋藤剛
東京市京橋區日吉町四番地

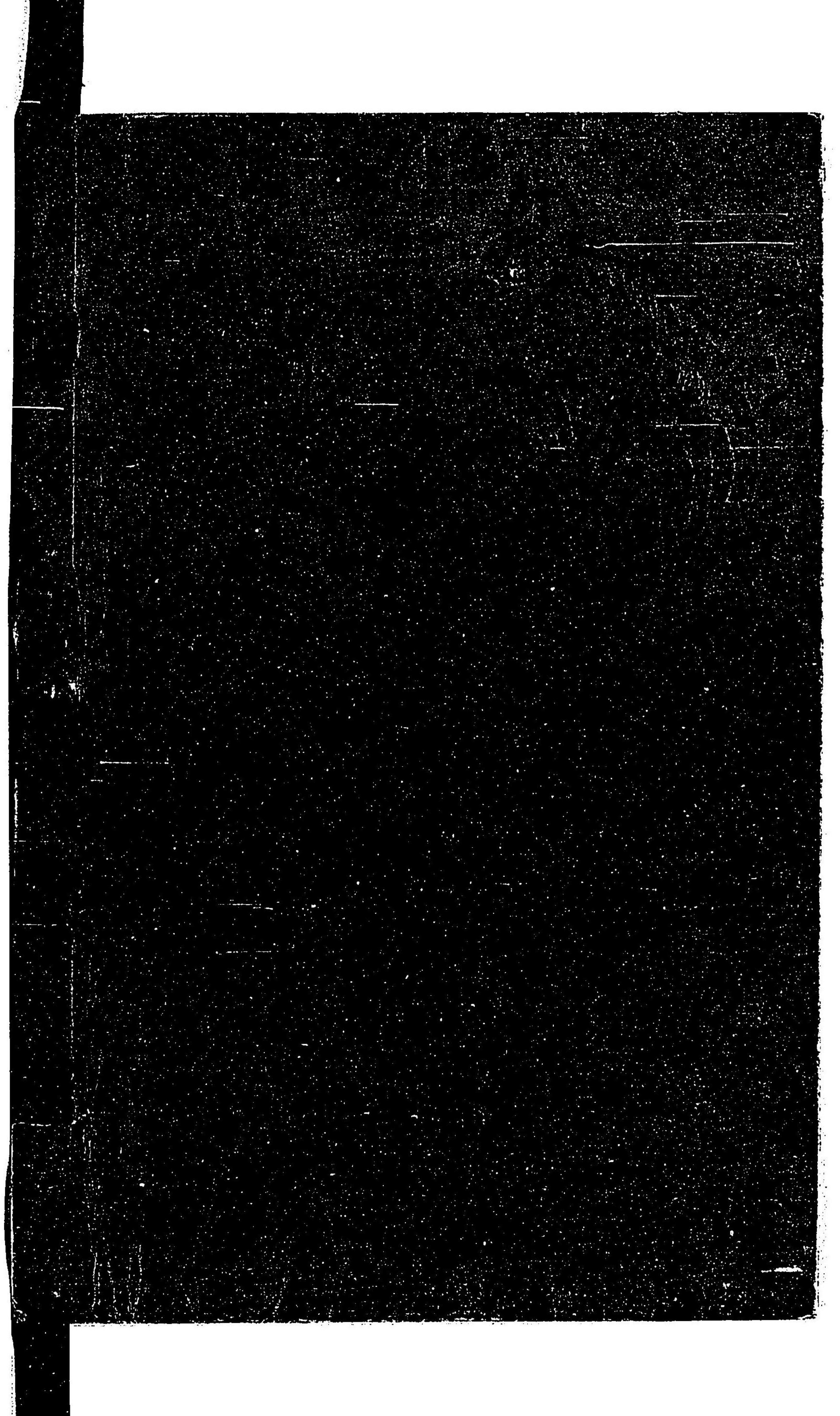
印刷所 民友社
東京市京橋區日吉町四番地

發行所 民友社



1937

昭和十九年三月十六日
小牧 啓之助



450

001463-000-8

210.09-H526k

宮中儀式略

平田 久/編

M37

ACB-3792



210.09

H526k